

ラベルPro-1

機能拡張とUSER'S MANUALの訂正のお知らせ

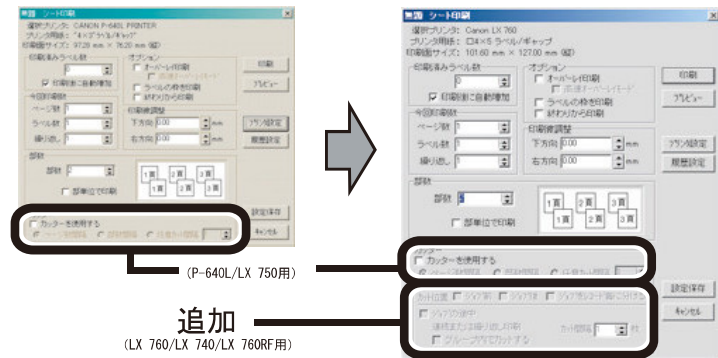
はじめに
お読みください

・ラベルPro-1の機能追加や誤記訂正、使用上の注意について記載してありますので、本製品をお使いになる前にお読みください。
・ここでお知らせする内容は本製品に同梱の取扱説明書には記載がありませんので、内容をお読みになった後も、将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

印刷設定画面の追加機能

LX 760/LX 740/LX 760RFプリンタでオートカッターを使うときの機能が追加になりました。
(オートカッターは別売のオプション製品です。詳しくは、プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。)

(旧) ラベルPro-1 USER'S MANUALの記載 (新) LX 760/LX 740/LX 760RF 機能拡張



LX 760/LX 740/LX 760RFプリンタで、オートカッターを使うときのカット設定は、次のとおりに行います。
(P-640L/LX 750プリンタをお使いの場合は、ラベルPro-1のUSER'S MANUALをご覧ください)

- 1 ラベルPro-1ソフトの[ファイル]メニューの[印刷]を選びます。
- 2 シート印刷画面の[プリンタ設定]をクリックし、プリンタの設定画面で印刷に使うプリンタ(LX 760/LX 740/LX 760RFのいずれか)を選び、[OK]をクリックして画面を閉じます。
- 3 「カッターを使用する」にチェックを付けます。「LX760専用オプション」の設定ができるようになります。
- 4 カットする位置や間隔を設定します。



[カット位置]の設定

[ジョブ前] / [ジョブ後]

印刷開始前 / 印刷終了時にカットします。

[ジョブをレコード毎に分ける]

レコードの区切れでカットします。

レコードによらず、等間隔でカットしたいときはチェックを付けません。

[ジョブの途中]の設定

印刷の途中でカットするときに、チェックを付けます。

[カット間隔]

カットする間隔を、ラベル単位で設定します。

[グループ内でカットする]

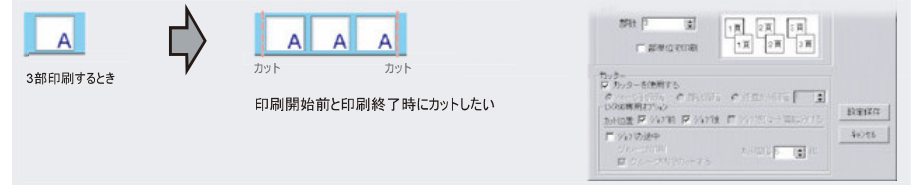
ページ単位内または1レコード内(1グループ内)でカットするときにチェックを付けます。



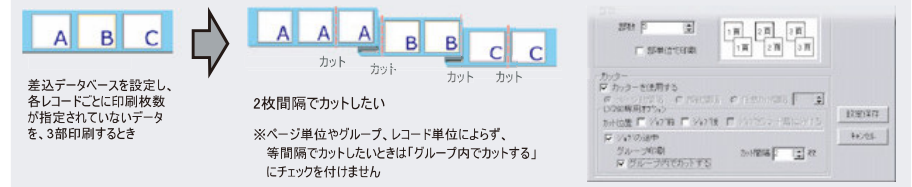
- [ジョブをレコード毎に分ける]は、差込データベースを設定し各レコードごとに印刷枚数を指定しているとき、[ジョブ前]または[ジョブ後]にチェックを付けたら、使うことができます。またチェックを付けたら、[部数]は[1]に固定され、各レコードごとに指定されている印刷枚数で印刷します。
- [グループ内でカットする]は[部数]を2部以上に設定するとチェックを付けることができますが、このとき[部単位で印刷]にチェックを付けたら、使うことができなくなります。

カット設定の例

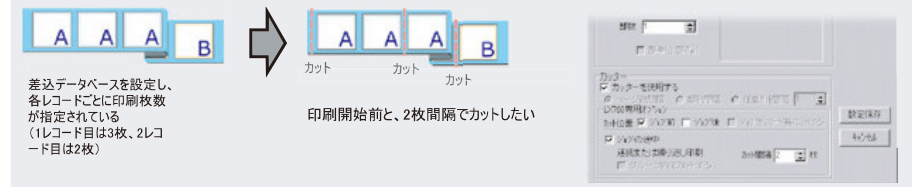
● カット例 1



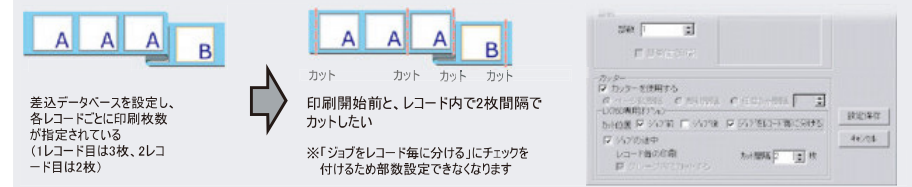
● カット例 2



● カット例 3



● カット例 4

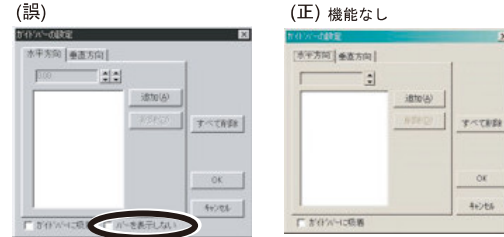


- [カット間隔]は、[部数]を2部以上に設定した場合は[グループ内でカットする]にチェックを付けたら、使うことができます。
- ラベルPro-1印刷設定の「シート印刷」画面と、「プリンタ設定」からのプロパティ画面とで同じ設定項目(部数やオーバーレイ、カッターのカット間隔の設定など)がある場合には、ラベルPro-1での設定が優先されます。

誤記訂正「バーを表示しない」機能について

ラベルPro-1 USER'S MANUAL P.179「ガイドバーの設定」画面の[水平方向]シート上「バーを表示しない」の記載がありますが、この機能はありません。

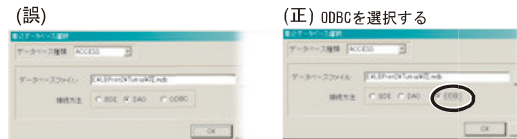
ラベルPro-1 USER'S MANUAL P.179「ガイドバーを表示しない」機能



誤記訂正「差込データベースの設定・ODBC」について

Microsoft (R) ACCESSの差込データベースの設定について、画像データを含むデータベースに接続するときの接続方法は「ODBC」を選択します。ラベルPro-1 USER'S MANUALのP.54手順4では、画像データを含む差込データベースの設定を行いますので、「ODBC」を選択して「OK」ボタンをクリックします。

ラベルPro-1 USER'S MANUAL P.54「データベースの設定」手順4



誤記訂正「QR/MicroQR Code」について

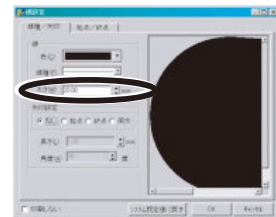
ラベルPro-1 USER'S MANUALのP.189「QR/MicroQR Code」の記載に誤りがありました。正しくは右記のとおりです。

ラベルPro-1 USER'S MANUAL P.189「QR/MicroQR Code」の特長

(正)	特長
●	シンボルの3つのコーナーに位置検出パターン（切り出しシンボル）を配置することにより、シンボルの位置、および方向を認識。21×21から4セル間隔で177×177セルまでの40種類を設定。
●	情報の種類および情報量は、数字7,089字、英数字4,296字、8ビットバイト（バイナリ）2,953字、漢字1,817字。
●	MicroQRでは、位置検出パターン（切り出しシンボル）を1つ配置し、11×11、13×13、15×15、17×17の4種類を設定。
●	MicroQRの情報の種類および情報量は、数字35字、英数字21字、8ビットバイト（バイナリ）15字、漢字9字。

仕様変更「オブジェクトの線の太さ」機能について

四角や丸などの描画オブジェクトの線の太さについて、設定できる上限値が20mmに変更になりました。20mmを越える値を入力した場合、最大20mmの太さで印刷します。



ワンポイント こんなときは

ラベルPro-1で印刷するときは、次のことにご注意ください。

太字が印字できない

Windows 2000/Windows NT4.0 でお使いの場合、フォントの種類（TrueTypeFontなど）によってはパソコン画面の表示どおりに印字できないことがあります。このようなときは、フォントを変えると印字できる場合があります。

印字画像が粗い

OLE機能でデータを取り込むと、画像データがきれいに印字されないことがあります。このとき、OLE機能を使用しないで取り込むときれいに印字できる場合があります。OLE機能を使用しない画像データの取り込み方についてはラベルPro-1 USER'S MANUAL P.103「画像オブジェクト」を参照ください。

バーコード「UCC/EAN128」を設定するときは

バーコード設定「UCC/EAN128」について、ラベルPro-1では、スタートキャラクタ直後のFNC1は自動的に付加されるようになっています。このため、スタートコードのすぐ後のFNC1は入力する必要がありません。なおFNC1を設定する場合は、<FNC1>と入力してください。また、アプリケーション識別子は()で囲んで入力してください。

●入力例
入力データ
(91)1234<FNC1>(92)56<FNC1>(93)01

↓

生成されるコードデータ
Start_Code<FNC1> 911234 FNC1 9256 FNC1 9301 CD Stop_Code

コード文字
(91)1234(92)56(93)01

アンインストールやバージョンアップするときは

ラベルPro-1をアンインストールするときやバージョンアップするときは、次のことにご注意ください。

アンインストールについて

ラベルPro-1をアンインストールするときは、Windowsのコントロールパネル「アプリケーションの追加と削除」から行ってください。（付属のCD-ROMにアンインストーラーはありません）

アンインストール/バージョンアップする前に

ラベルPro-1をアンインストール、およびバージョンアップする前に、オリジナルデータのバックアップをしてください。保存または登録したデータ（新規作成した用紙など）が削除されてしまいますので、これらのデータを残しておきたい場合は必ず、フロッピーディスクやUSBメモリなどに保存（コピー）してください。

●バックアップしておく保存データ、または登録データ

ラベルPro-1をインストールしたディスクドライブの、ラベルPro-1をインストールしたフォルダ（LabelPro-1フォルダ）内の「LABEL.P.PPR」ファイルおよび「LABELDB」フォルダ、「SMD」ファイル（拡張子が「SMD」のファイル）。「SMD」ファイル保存先は、デフォルト設定では「MyLabel1」フォルダになっています。「MyLabel1」フォルダ内の「SMD」ファイルもバックアップしておくことをおすすめします。

●バックアップ/再登録のしかた

バックアップデータをフロッピーディスクやUSBメモリなどに保存（コピー）したら、ラベルPro-1をアンインストールまたはバージョンアップを行います。ラベルPro-1を再インストール（バージョンアップ）後、「LabelPro-1」フォルダにコピー（上書き保存）します。

ソフトウェアの詳細ご案内、ならびに最新のバージョン情報につきましては
キャンノンのホームページにてご覧いただけます。
<http://canon.jp/>

●Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporation およびその他の国における登録商標です。●Microsoft WindowsをWindowsと表記しています。
●本書に記載されている一部または全部を無断転載することは禁止されています。●本書の内容については予告なしに変更することがあります。